

〔曲名〕 Le Chant du Gondolier

ゴンドラ漕手の唄

〔曲種〕 Barcarolle

船唄

〔作曲者〕 Edouard Mezzacapo

エドアルド メッツァカーポ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

作者については9集「侯爵夫人の館にて」の項を参照されたい。

作者の門弟であるカサビアンカ博士に贈られている。

初めはマンドリンとピアノに書かれたらしいが後に作者自身により四重奏に書き改められた。

従ってマンドロンチェロ及びキタローネはピアノ譜から私が付け加えたものであることをお断りしておく。

バルカローラはマンドリン合奏曲にも数多くあるが特に之は美しい。

この作者のものではアンダンテとポロネーズが最もよく演奏されるがマンドリンの柔く甘い美しさは随一で、

徒らに背のびしてガリガリ掻き鳴らすよりは先づ斯うしたものを肌理細く演奏すべきである。

至るところにグリッサンドが用いられているが作者独得のもので、どの曲も之式で演奏されては困るが本曲では悪くない。

1971年2月7日発行

イタリアマンドリン百曲選第10集より